

(4) 白石区

概況

白石区は市の東部に位置し、北は江別市と、南は東北通を境に豊平区及び清田区と接しています。また、東は厚別区、西は豊平川を境に中央区と東区に隣り合っています。

地下鉄沿線を中心に集合住宅が多く、1世帯あたりの居住人数は中央区、豊平区に次いで少なくなっています。

区内には、東西方向にJR線、地下鉄、主要幹線、白石こころード（旧白石サイクリングロード）が、南北方向に道央自動車道や環状通が配されているなど、整備された各種交通網が生活の利便性を高めているとともに、区の東部に広がる流通センターは道内の物流拠点となっています。

また、「札幌コンベンションセンター」や「JICA北海道国際センター（札幌）」等の施設もあり、札幌市の集客交流や国際交流の拠点としての役割も担っています。

歴史

明治4年、旧仙台藩白石城主、片倉小十郎（白石城は現在の宮城県白石市に位置）の家臣が望月寒（現在の白石区中央付近）に移住しました。

彼らは、うっそうとした原始林が石狩河畔まで続くこの地で、厳しい寒さの中、現在の白石公園付近から白石神社の間をわずか半月足らずで切り開き、47戸の小屋を完成させました。開拓使の岩村判官は、この働きぶりに感心し、この地に彼らの郷里の名をとって「白石村」と命名しました。

その後、白石村が札幌市と合併（昭和25年7月1日）し、昭和47年4月1日に札幌市が政令指定都市に移行したことに伴い、旧白石村全域が白石区となりました。以後、著しい人口増加のため平成元年11月6日に厚別川を境に分区し、西側が現在の白石区となっています。

アクションプラン2015におけるまちづくりの取組

白石区では、区民が「白石区に住んで良かった・住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めています。これを実現するため、目標①「安全・安心で快適に暮らせるまち」として、地域防災力の強化、子育て支援の充実、健康づくりの推進等に取り組むとともに、目標②「地域のチカラ、魅力の向上」として、町内会活動の活性化、若い世代のまちづくり参加、街の魅力の創造等に取り組んでいます。

アクションプラン2015では、地下鉄白石駅周辺（地域交流拠点⁷）の利便性向上等を目的に、地下鉄直結の白石区複合庁舎を整備したほか、複合庁舎のイベントスペースを活用したにぎわいづくりを進めてきました。また、地域に親しまれている白石こころードにタイルアートを描くこと等を通じて、地域の活性化や魅力向上にも取り組んできました。

アクションプラン2019では、北海道胆振東部地震の経験を生かした地域コミュニティにおける防災力向上の取組のほか、健康寿命延伸に向けて、ウォーキングやスポーツ大会を通じた生活習慣改善の取組を進めていきます。また、町内会の活性化にも引き続き取り組んでいきます。

取組目標・主な取組

目標1：安全・安心で快適に暮らせるまち	
地域防災力の強化、子育て支援の充実、健康づくりの推進等に取り組みます。	
地域コミュニティにおける防災力向上事業 (P.48)	地域コミュニティにおける災害対応力を向上させるため、「自助 ⁵² 」「共助 ¹⁹ 」を行うための組織づくりや避難行動要支援者 ⁵³ への支援体制の整備、防災意識啓発などを行います。
子育て支援の充実 ^{*1}	子ども医療費助成の拡充や、病後児デイサービス、ファミリー・サポート・センター事業 ⁶⁷ の登録説明会等を実施します。
各団体の連携支援 ^{*2}	単身高齢者の増加や災害弱者の孤立等の地域課題解決のため、地域で活動する各種団体が共通認識を持つきっかけづくりとなる福まちパワーアップ事業等の取組や情報発信を実施します。
白石健康づくり推進事業 (P.51)	健康を意識し、運動や食生活改善に向けて自発的に行動する区民を増やすため、ウォーキングマップの作成や各種スポーツ大会への支援により、気軽にウォーキングやスポーツに親しめる環境を整えます。
環境にやさしいまちづくり (★)	市民・企業・行政の協働による清掃活動や、身近な自然や環境について考える機会につながる「月寒川にぎわい川まつり」等を実施します。
より快適な冬期環境の実現 ^{*3}	小学生に雪対策への関心を持ってもらうための「雪体験授業」や、地域除雪ボランティアへの除雪用具の無償貸与等を実施します。

目標2：地域のチカラ、魅力の向上	
町内会活動の活性化、若い世代のまちづくり参加、街の魅力の創造等に取り組みます。	
地域コミュニティ活動活性化支援事業 (P.65)	地域活動の中核を担う町内会活動を活性化することを目的に、町内会活動の紹介や担い手の確保に向けた取組等の支援を実施します。
若い世代のまちづくり参加 (★)	小中学生を対象とした就労体験「白石でっち奉公」の開催や、若者による「ふるさとまつり」への出店等、若い世代のまちづくり参加を支援します。
まちの魅力発見・発信 (★)	多くの区民が集まる「ふるさとまつり」において、郷土意識の向上につながる宮城県白石市や登別市との交流企画等を実施するほか、「歴史るべ」等の白石区の特色を「白石区ガイド」等を活用して発信します。

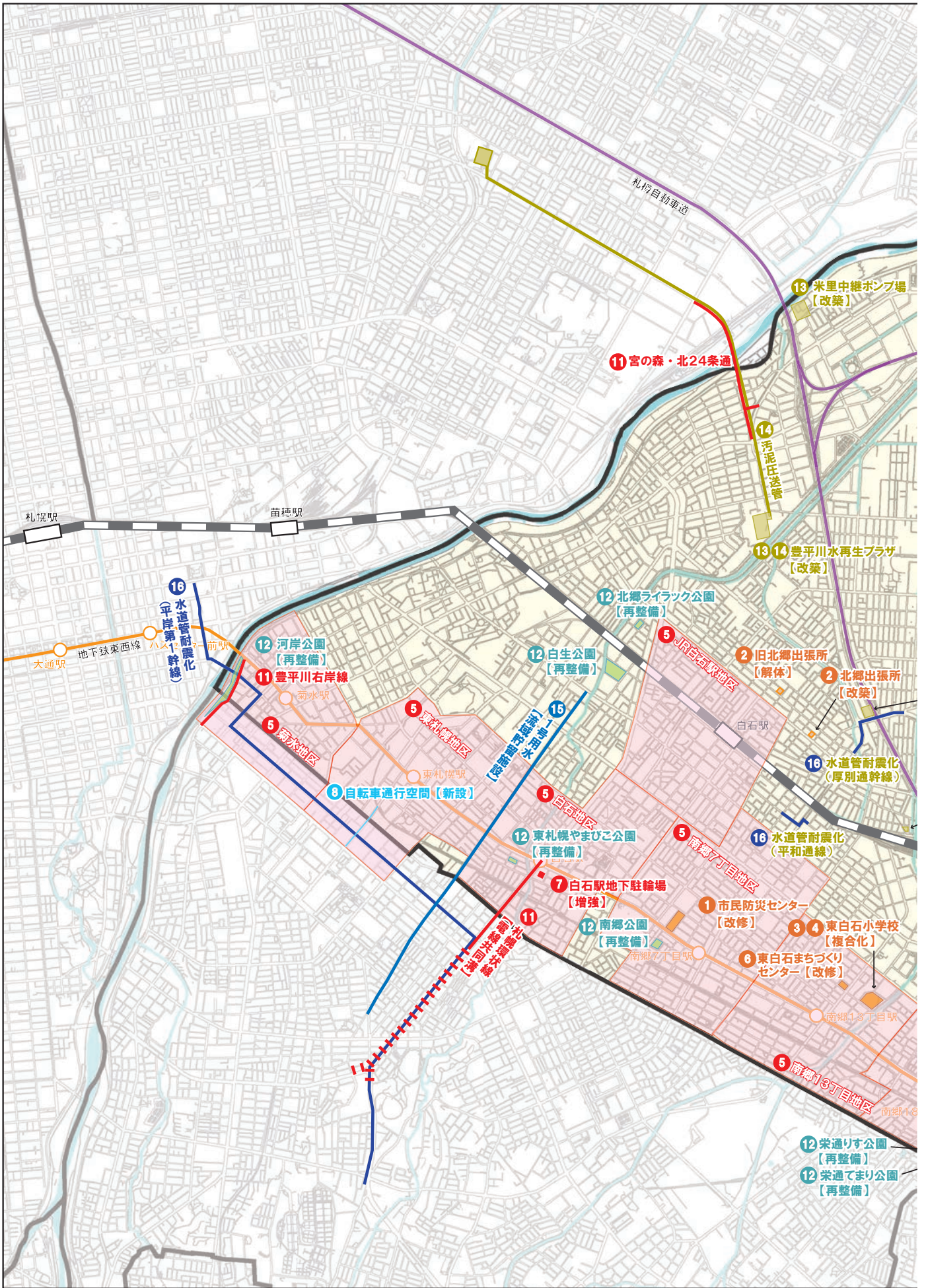
目標3：区民のための区役所	
サービスアップの推進、積極的な情報発信等に取り組みます。	
サービスアップ (P.172)	区民の皆様の声（ご意見等）を的確に捉え、サービスアップにつながる窓口対応や庁舎案内の改善を実施します。
情報発信 (P.170)	「広報さっぽろ」やホームページ等を活用して区の情報を発信します。特に2020年の白石開基150年に向けては、白石の人や歴史に着目した連載を開始します。

注) 事業名内の(★)は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.66)による実施

※1 「子ども医療費助成制度の拡充」(P.54)、「子育て援助活動支援事業」(P.56)による実施

※2 「福まち推進事業」(P.38)による実施

※3 「冬みち地域連携事業」(P.69)による実施

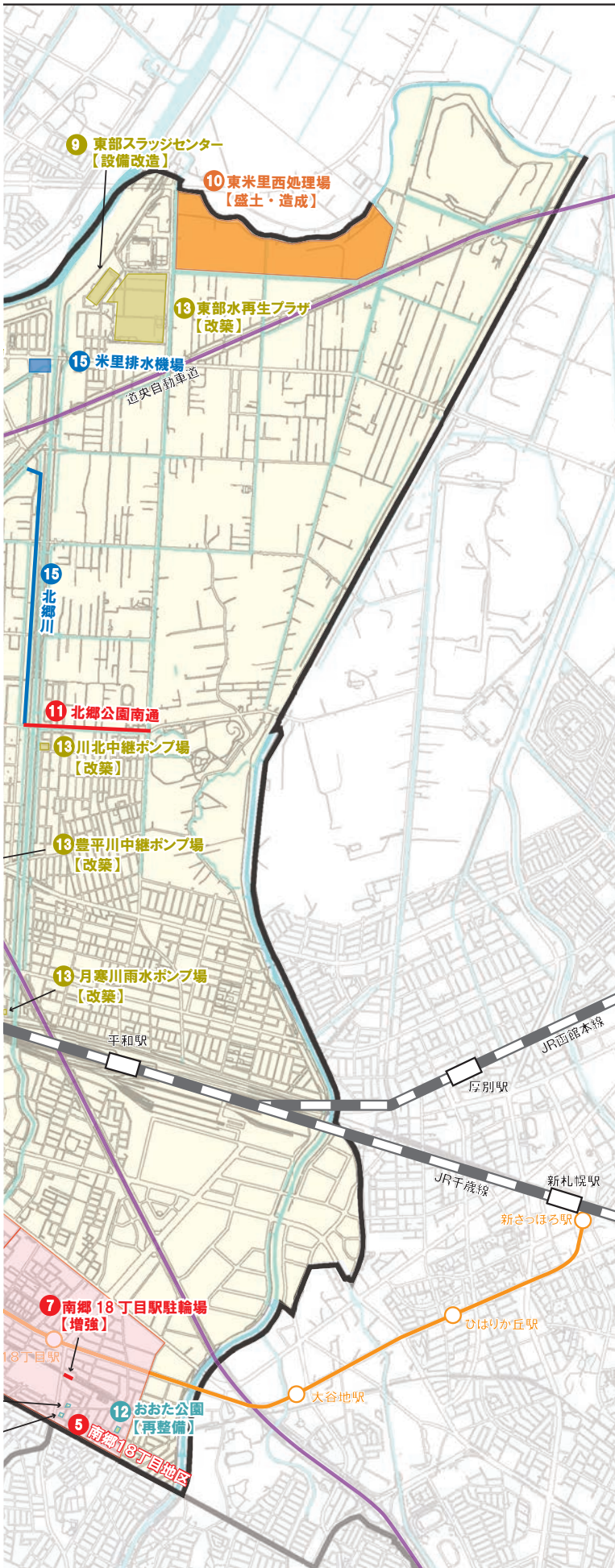




白石区

事業一覧

No.	事業名	ページ
①	札幌市民防災センターリニューアル事業	46
②	消防出張所改築事業	47
③	学校施設改築事業	59
④	児童会館等再整備事業	61
⑤	安全・安心な道路環境の整備事業	63
⑥	小学校併設地域交流施設等整備事業	64
⑦	放置自転車対策推進事業	98
⑧	自転車の車道通行促進事業	98
⑨	下水道エネルギー・資源有効利用事業	107
⑩	東米里西処理場造成事業	107
⑪	骨格道路網等整備事業	115
⑫	地域と創る公園機能再編・再整備事業	117
⑬	下水道施設の再構築事業	121
⑭	下水道施設の災害対策事業	121
⑮	総合的な治水整備事業	121
⑯	配水幹線連続耐震化事業	121



地図の凡例

- 道路（施設）整備
- 歩道バリアフリー整備
- 自転車通行空間
- 河川整備
- 下水道（施設）整備
- 公園整備
- 水道（施設）整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方

